

# 住友ゴムグループの次世代 モータリゼーションへの貢献

当社グループは、「原材料」「低燃費性」「省資源」という三つのアプローチによるタイヤ開発により、環境にやさしいモータリゼーションの発展を支えています。

一般的な乗用車用タイヤの場合、原材料の約60%弱を石油などの化石資源由来の素材に依存しており、全世界でタイヤ生産のために年間約500万キロリットルの石油が消費されています。また、スペアタイヤは、そのほとんどが一度も使われずに廃棄処分されているという現実もあります。

当社グループは環境問題への取り組みを経営の最重要事項として位置付け、「原材料」「低燃費性」「省資源」という切り口から製品開発することにより、地球環境への貢献を目指しています。例えば、ダンロップブランドの市販夏用タイヤの約80%以上が低燃費タイヤ\*1となっており、さらに4年連続売上No.1\*2を獲得しています。これは、いち早く低燃費タイヤの開発へ取り組んできたからこその実績といえます。

これからも当社グループは、100年を超える歴史を通じて培ってきた独自のゴム技術を駆使しながら、地球環境に配慮した商品を開発し、持続可能なモータリゼーション社会の実現に貢献していきます。

\*1 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会 (JATMA) が定めた、転がり抵抗性能とウェットグリップ性能の基準を満たすタイヤ

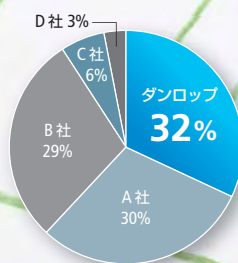
\*2 2010年～2013年の全国カー用品量販店上位2社合計における低燃費タイヤ販売本数 / (株)日本能率協会総合研究所調べ

**No.1**

ダンロップの「低燃費タイヤ\*1」が4年連続売上第1位\*2

**80%以上**

当社市販夏用タイヤに占める低燃費タイヤの割合



国内販売本数シェア

## 高性能・高品質タイヤの開発へ向けた「4D NANO DESIGN」の進化

### ナノレベル構造

### 材料シミュレーション



Spring-8(大型放射光施設)



地球シミュレータ

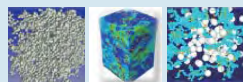


提供:理化学研究所

スーパーコンピュータ「京」

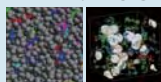
2011年

4D NANO DESIGN



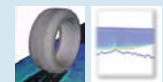
2015年

ADVANCED 4D NANO DESIGN



2020年

NEXT 4D NANO DESIGN



結合・分散など分子レベルの現象

材料中のリアルな現象

材料からタイヤ性能